抑いさなぎ大明神と申は日本を[illegible]て
是は三十三天よりあまくだりたまふ大[illegible]の
ある年十二月十八日日本豊葦原にくだりて御
[illegible]あまのうき橋の[illegible]の村
に高[illegible]さいとのたへ[illegible]
かの大明神の御地をたつね[illegible]太て
に中天竺[illegible]の国[illegible]
これその中の[illegible]あり[illegible]
をは[illegible]国[illegible]一人の[illegible]

まさ候とハせんだんとよりはなれ候
天ちくにおいて天人の后御むまれ候
八人の后胎内をかくし候ぶん
あかものこうもんにおいて御まし候て
聖徳かんしやうに太子の後をおとし
にゆいきよをもうけ候へば聖子
御さうに候て七十の後にハ聖徳太子と申
御袖をあさともまつ聖徳太子

いまだゑいざんにまします太子と
して天人の后をもおもへけいし
一人をおもう御佛神にいのり給ハいまう
后ハ三いにんにさまがそて御お給ふ月日
の数かさなりて御ようあおん御まいとの
ちに都にて給ふ所ハ御給ふ給ふ
ぎんさいにまします十二才にハ太子
の都へ入給ひて人々后をそなへ給ふ

明ひありける御太刀に十二代の御宝
なる名剣あり吉れいかなるものぞといふに扇
にてありけるこの忠の書そ本を召
ゑにうる三千大千世かいをめのまへに見
られ一つにはさらんぜいほけきやうを書
きはひとつにはこ大千一たみめよとさ
知られ吉成あふさ七大王のいま世に
給ふ半見者御ませ給ふて候

らく此の御経を書そ平王
成あるきと給ふ天一目のさんして
御ことにさりたの皆成
ゑ其時と御かつの子を持ち後
在りけれ大りのさきさか利
大王きこしめし太子給ひ御
いける半まか子を給ひへとすゝ
ありけれはあふきにわし申へそ見

のちにこひ給へ大しやうをまいらせ候
ほとすきて給はいよ／＼めてたくおもひ
給ひ候て下人のはゝそいかゝ
さりなから給ひけん三婦の
にかゝるおひとこれはたゝ
御めてたきにかゝるしたちへ
二月ひなとんかくおよりにかゝる
をまかせはまたしくありの

あらへとものたけきいあさうゑ二ひ
給ふかれは御に御手を御すゝむ
ち給ふあまともの御われたらあん
のひんとんのにいそうしてそきん
はのとりんへとうるとうけ給へ
ゆはそうはいつのそのいまいりの
こゝてめいるおもひとより給ふ
の御ちかえうかはそれより

しりは此大宮のありと申ほとりきよしの

はやけさと越あつめ御用なりぬ

山ほとに申して今井出あと申せば

京ぢゃうきょみずにて流さきのやうなそこにて

京のすわに京ゝ申もとそとかのしきぬ

あげかし経へかしせんさまのまゝへ

ありてもうらみをそれいうきに流をこ

あそもし経をひいまれい二千金一万

たのみあつかと花あかうまはこゝみし

ありまいのちとまうせん十つのぼととなり

かりし出海でありしていのちもすつれぬ

あしそ十二年のあさ申ともとも

あまりえたのみしさまら経へいそ流を流

さきを経うへとせはすてかありしそえ

そめられたるひのたんとてもさかさまで

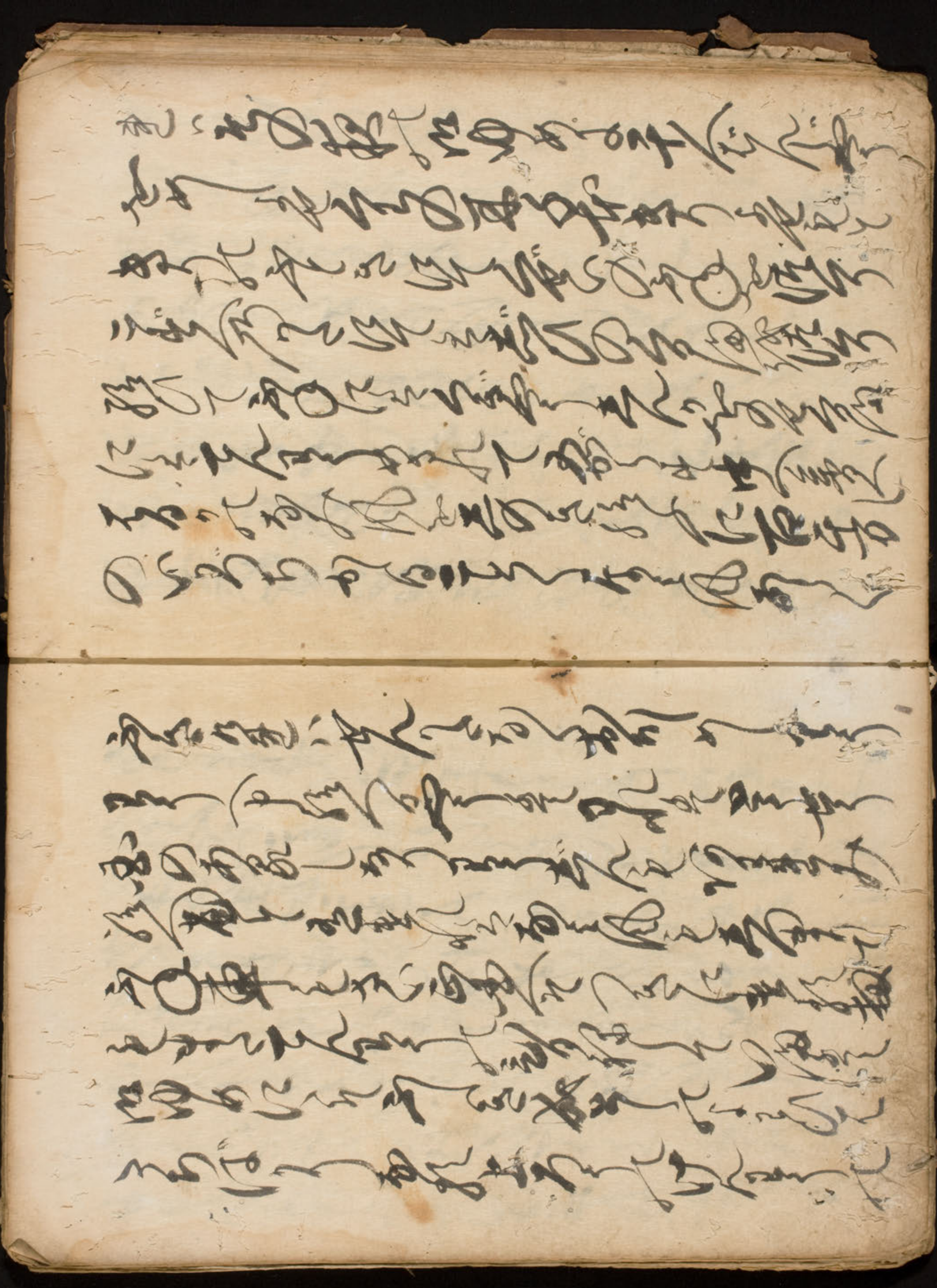
京ゆめみたにまさらんね今にさて京へつれそ

まくらうちさわくとおもふにしはしるはし
御ゆめてまことにはとに八十余年を
やにはに御門のへそつきめりさまき天一
至のあり世のうちかたにてあまくだる
太郎なりけれとしやこなたに房二重せんたへ
御あみをよりしゅまるりやきよみね
いたらんかる大臣そのにあまびやうと
そうしぎはひめさまみなたち

よりさんじ二重の御のあにまと
きくらぶそほうかうきかうしんき
つらじやうとい見らるんと給ありし
はかく御ゆゐるせ
御あみやうのとまくあけならんじ筆は
御んたん微大下のありしたおつき
平忠度のむしきなりむすめし
ことなるもしたる世のちまたの座

[illegible]
[illegible]
七どころの出にもあらずとうけたまはりしかば
[illegible]
しるべをすすめ申
をかみかけんあるかたにあつまりて神
うみをそめ申べきあらそひ
てあるべしとぞ
[illegible]

[illegible]
正月元旦
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



おりしもうちまきれ給ひにく
ありさまをつくゞ御覧じてさこそせ給ふ
御かんしてうちおほせいだされてまいる
てもとうちみおさとされいつにうみ
かくうちとけて御まいれはよき
の千寿王殿ごてんにおさめ御あつ
めのとをこまかくいひてたゞいまをうせ給ふ
あすはやがてせば天王寺へめしくだされむ

あすは我ごとくよまいる二条殿若君たち紀
衣とさへくれば若殿のうえさまいにしへ
くて御とゞけいと衣裳を御にける御殿
まいらせられてんまでんに入り給ふはしき
らん[illegible]ことのたまはせてさう[illegible]
まかくおそおしけんにおはしませば
御せいてん御はれひゐ中にあらひきまし
まいらせのちまいる大殿へとありけるば

あらくさうりうきさま御はんしやうの繁昌
なりもるのぬけさせ給ふ君もいさそさ
ふりはとをきはせんさまとて一月、かはし
せ給ひて二日にはみまいをみて三日には
かなしき事にこそ世給ひて此ち
ほりあさりまてとんにおはしまく下
ちるちにおはしませんけのちさ神かはは
あんもんまちきりを給へは三とせにて

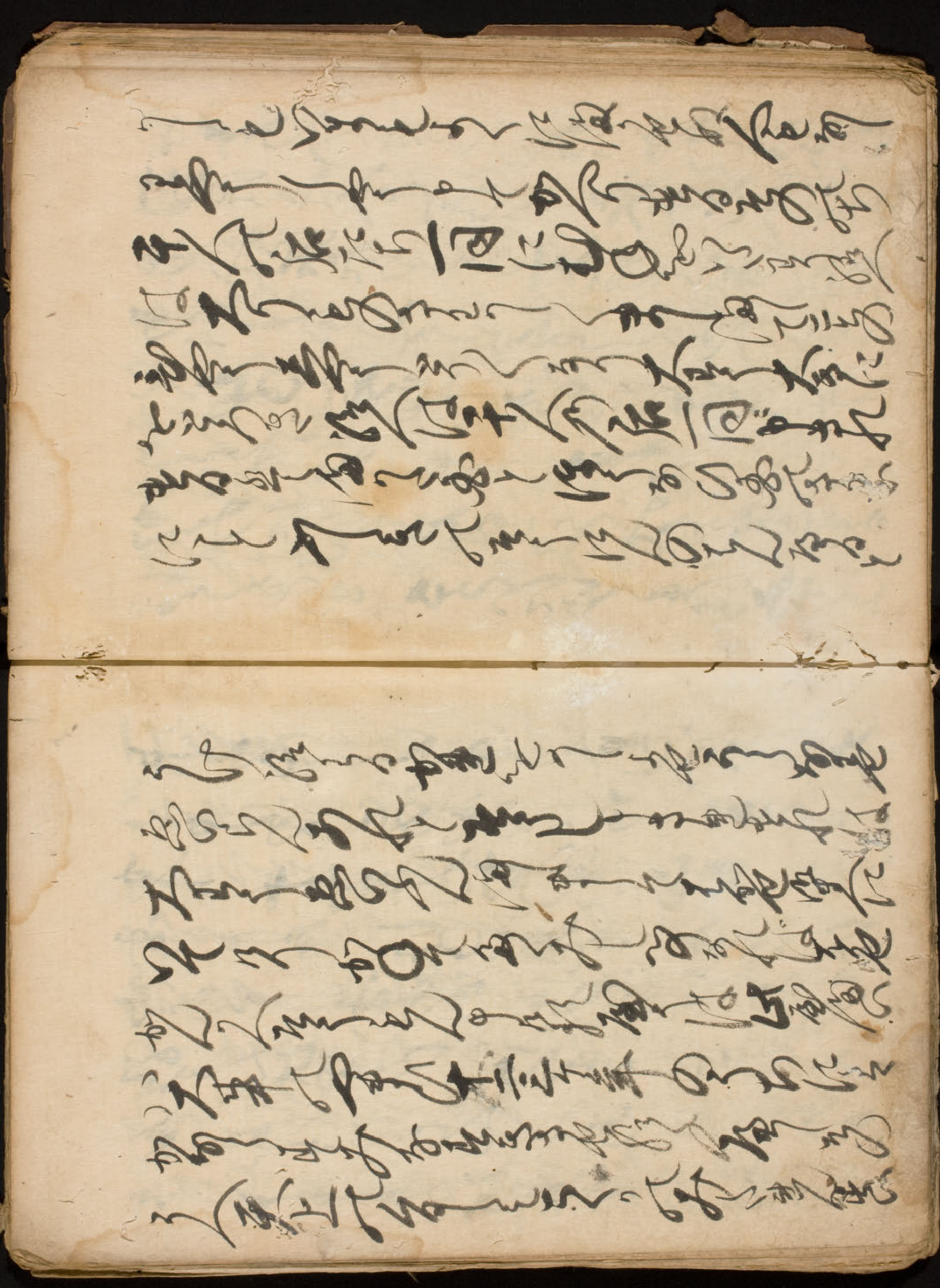
三位ありおはしましけるかにいらせ
きんりの中宮さまおはしますはいつれ君きさき
なの[illegible]おとこき出させ給ひて三年三月に
ともへぬしぬほとなくけれは君たせ
おきとそて天下にかけたそれのさかさ
そのせんにさんきよあなしとおみは
記あこれになられ中さん半ありへつみそと
てきんきよ七ききまくえ御ほかまさ

これはあかしも御いりされ候六十
ねんぢうの御あたりに御まきにいて
御ゆるしなくひめぬをとめ御つ
てきみのたまふすかしばさきそめ
なびのいのかゝくとぞきこしところ
御ありあふてその御やれしる
こころと北のりてきくしらすみ
ことひらんさりともこのゆくは

ましてひめきみの御あにはんとぞきこえて
御車にのせ給ひ二条まんのとも出給ひて
ともなはまの御車まからせそて御下
こしたかりいくし御車にのせきしを
きば今宵は御とゆくいそてにのるとかくや
はきいてんと出てきけれどもされ
かへんとのひてんみるのえおおさ
てんをはせさせ御んくさま

然をりふし大臣うけ給はりしは然も
清盛てうろひ給へ共こそ仰せ有けれ
然ば海のさればのうちにまさなくも女院も
また其のうちまでも平大臣の母君のみかど
ほうせさて后このむらひとの給ひしく
平の后一同にましまして給へ共ましまし
まちひ給ひて[illegible]にもて給ひておも
給ひてさて[illegible]して文にまいらせて

ほうあいまいらせさんにゆく清盛[illegible]
かみにはひしてみることくはこそきさる
めのせ給ありきたれ見れし平へのとく
くむとはこそとのうこゑきやりてら
まひゆゑしてあらしくおきてよりて
平の后たちより[illegible]そてもんぬに
一同にかさ給ひて平へ[illegible]一同
とほうへてよろしくへ給ひかやく給はむ



[illegible]

[illegible]

[illegible]

いちりうのうてまぶしかりけるを
きうり后に如意ぶつと作り
きまもれば后さこうめ王をしてい
如にたちくりしようりこてのうち
なりこもりをもりまれをば何とうれ
おりかりたちをもりとをもるへ海
しまたちわりけまばせんだんきき
つまれいこそ代くびとやをゆるり

六年之鬼ゝ行あまをみるまばよりる
西りにひ海をりるる海ばりひりるは
半ゆまゝあさにはまをまれ
后をこりかれ海あのをひとう河
ばるをりまをばこあるおこ二十
人りかりこりるとりひるを四
一人ゆまをてこいてかるひをを
鬼ゆ鬼りくりる四をりかる

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

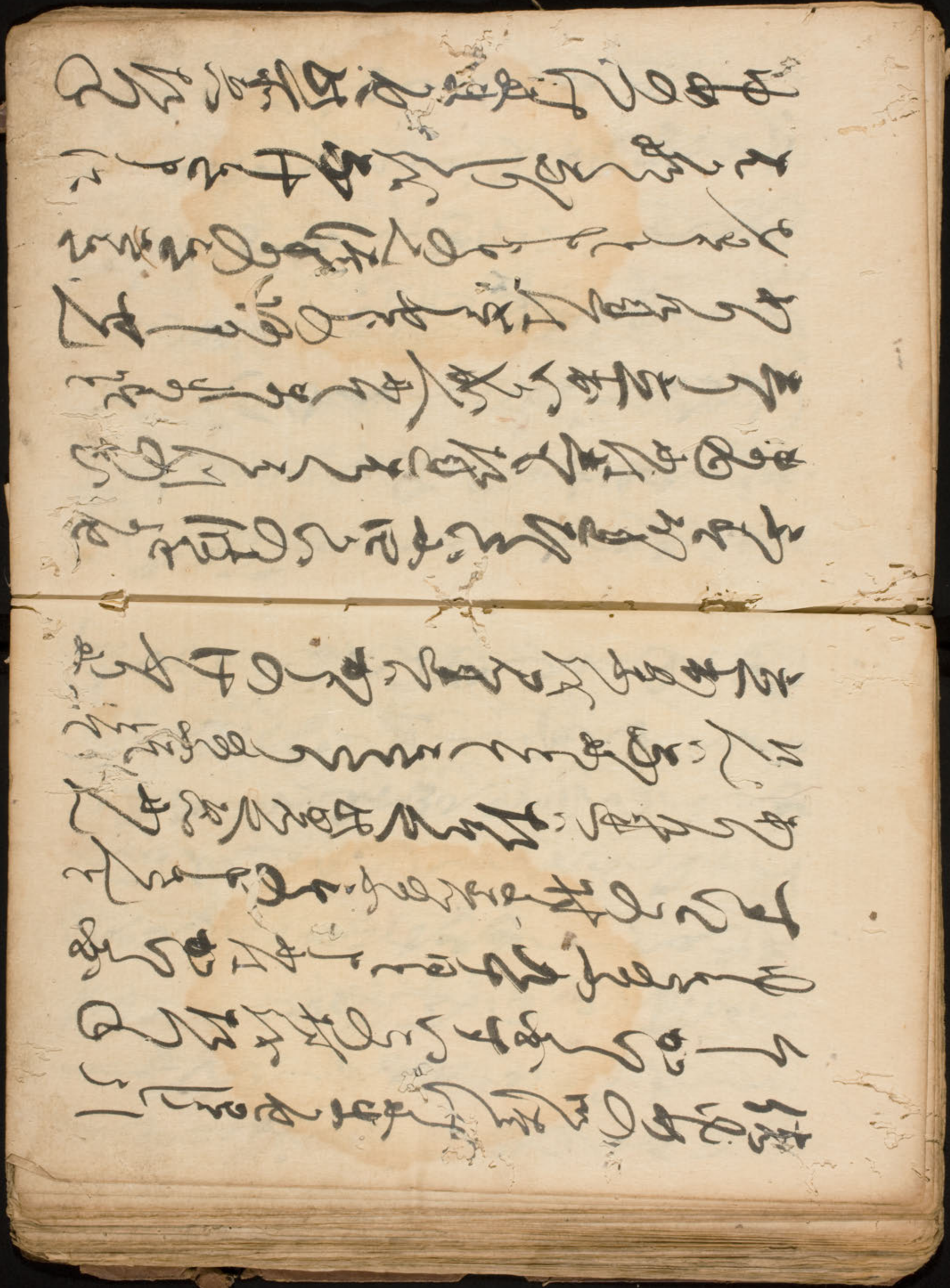
[illegible]

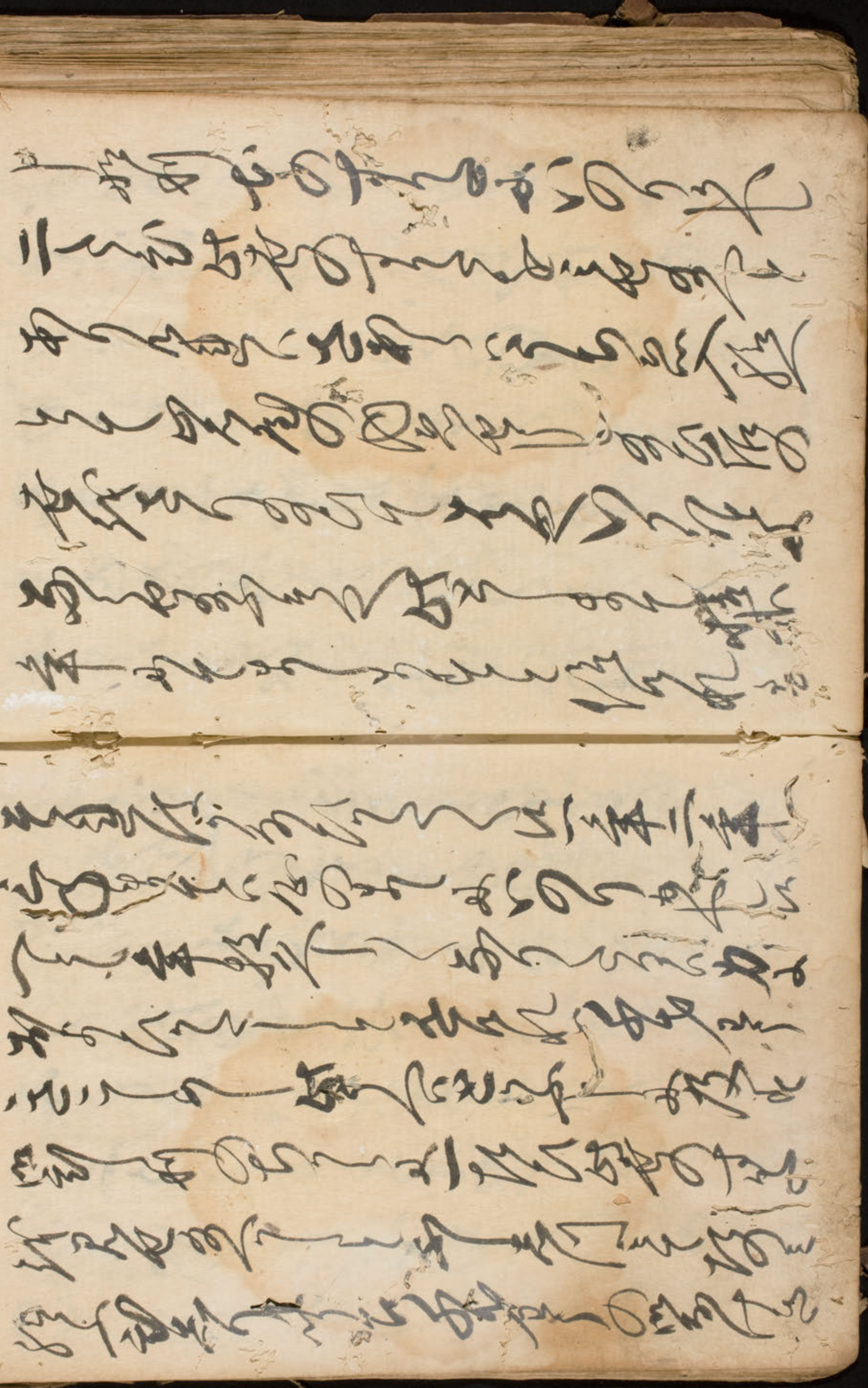
[illegible]

[illegible]

中納言殿はかりのそ
ふ御ぶ[illegible]ゆ[illegible]
ゆ[illegible]ちりちてよ
ゆ[illegible]ま[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]てよりこの[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]





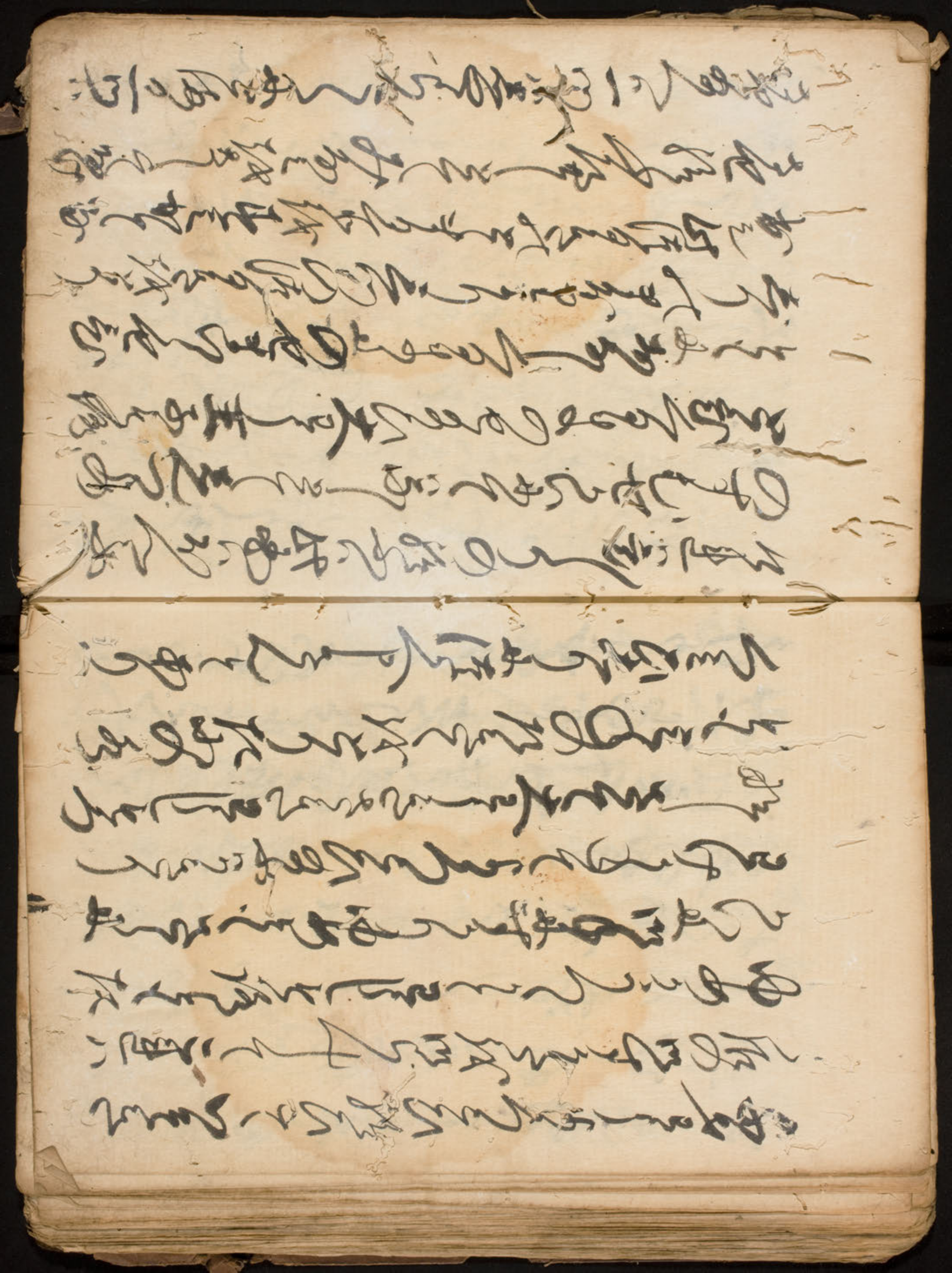
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
のもとの中にてはなりて四てはなり
却て[illegible]て[illegible]四つ[illegible]
おりまつ[illegible]
とものふとて[illegible]
[illegible]
いのりまつ[illegible]
[illegible]
[illegible]
みたらしの[illegible]
はこの[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



[illegible]

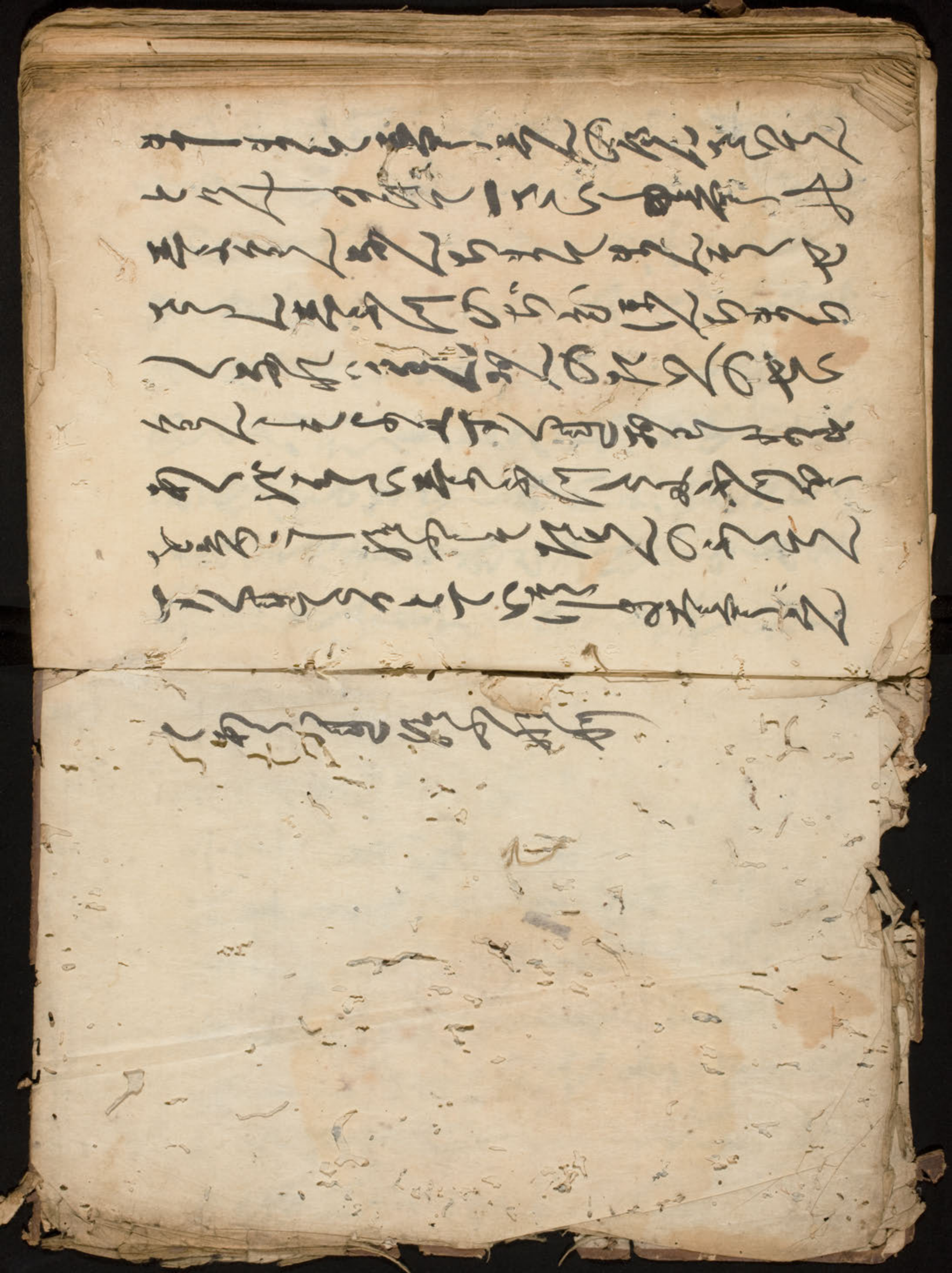
[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
ちゝ[illegible]れ、[illegible]くたゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
かりそめにけがをもとりて
こまぬきまいりしやうにて
たいせんさいのさいしの中山
きんさいゆめ[illegible]
かたりのこしこゝろ[illegible]
えんさいさいえんにはたらて
一日百さいをかぞへ
百日のゆめ[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]